

年頭所感

五霞町長

染谷 森雄



新年あけましておめでとうございませう。皆様には、平成最後の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、町政全般にわたりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年、本町でも台風24号の強風による被害がありました。昨今の台風の数多き、風の強さ、豪雨の頻度とパターンの変化を見ると、今後私達は「強雨強風の時代」に備えた防災対策が不

可欠となると思います。いつもお願いしている事ですが、「自分の身は自分で守る」(自助)が基本です。また、いざという時は、隣近所の助け合い(共助)が必要です。常日頃の近所とのお付き合いが減災につながります。普段から地域の絆を深めて頂きたいと思えます。また、町民の生命財産を守るのは行政の責務です。減災対策として3月までに「地域防災計画」の改定、水害ハザードマップを全戸配布するとともに、来年度は職員を始めた「防災士」資格の取得も予定しています。1年の始

めで願うのは平穏な1年であつてほしいということ。さて今年、五霞が誕生して130年目の節目の年となります。これを祝し、6月9日には記念式典、講演会等を予定しています。五霞町は明治22年(1889年)の町村合併により誕生して以来単独であり続け、現在に至っている大変歴史のある町であります。圏央道の開通、インター周辺開発も順調に進んでおり、郷土の限らない発展を祈ります。

また、9月28日からは第74回いきいき茨城ゆめ国体が開催されます。発は、いくつかの進出企業が稼働し始めているところですが、町民の皆様が強く要望しています商業施設の一日も早い立地を期待しているところです。人口減少問題、少子高齢化、町内幹線道路整備など課題は山積みです。これらの課題に全力で取り組むとともに、若い世代が五霞町に住んでもらえる魅力ある施策を進めてまいります。こうした中、今年、五霞誕生130周年の節目を迎え、記念事業も予定されていますし、秋には「いきいき茨城ゆめ国体」

新春を迎えて

五霞町議会議長

樋下 周一郎



明けましておめでとうございませう。議会を代表いたしまして新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より、町政運営並びに町議会に対するご支援、ご協力を賜りまして、心から感謝とお礼を申し上げます。昨年、大阪北部地震、七月豪雨、台風21、24号、北海道胆振東部地震など、全国的に甚大

な被害がもたらされ、予想を超える災害が発生しております。自然災害に対する危機管理体制の充実や、町民の皆様の防災意識の向上を図ることが、町としても大変重要なことと認識しております。町では、昨年、日本GLP(株)と水害時の防災協定を結びました。GLP圏央五霞には1,600人の一時避難が可能であり、町民の皆様の安心・安全をより確実なものにするための施策が進められているところです。五霞インターチェンジ周辺開

発は、いくつかの進出企業が稼働し始めているところですが、町民の皆様が強く要望しています商業施設の一日も早い立地を期待しているところです。人口減少問題、少子高齢化、町内幹線道路整備など課題は山積みです。これらの課題に全力で取り組むとともに、若い世代が五霞町に住んでもらえる魅力ある施策を進めてまいります。こうした中、今年、五霞誕生130周年の節目を迎え、記念事業も予定されていますし、秋には「いきいき茨城ゆめ国体」

が開催されます。町ではウォーキング大会が行われますが、昨年多くの方に参加いただき、プレ大会が開催されました。この経験を生かして準備を進めてまいりますので、皆様のお力添えをお願いします。結びに、財政事情を考慮しながら、無駄のない行政運営と町の振興、発展に議会としても努力してまいります。どうか本年もより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。挨拶いたします。